

事業者向け 放課後等デイサービス(あかとんぼ土浮) 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	
	2	職員の配置数は適切であるか	67%	33%	0%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	22%	44%	33%	バリアフリー化の配慮について検討もしくは移転を検討している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	67%	33%	0%	
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	78%	22%	0%	アンケートでは特に意見がありませんでした。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%	0%	0%	
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	89%	11%	0%	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	89%	11%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	78%	22%	0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	78%	22%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	78%	22%	0%	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	78%	22%	0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	89%	11%	0%	
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	78%	22%	0%	支援終了だけでなく支援前に共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	78%	22%	0%	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	89%	11%	0%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	78%	22%	0%	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	相談支援事業所の担当者会議は、虐待等の特例のみ主任がさんかしている
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	78%	22%	0%	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	11%	89%	0%	そのような利用者を受け入れる体制が整っていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	今後更に情報共有していきたい
	24	子供を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	今はできていないが検討が必要である
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	22%	33%	44%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67%	33%	0%	気になることはその都度共有している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	11%	33%	56%	最近研修で聞くようになり、家族支援と言う観点から検討が必要ではないかと考えている
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	56%	33%	11%	傾聴しながら同調し、助言はその利用者の活動例等をお話している
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11%	44%	44%	説明等で場を設ける際に保護者会を開催している
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78%	11%	11%	
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	56%	33%	11%	行事予定はお知らせしている
35		個人情報に十分に注意しているか	89%	11%	0%	
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	56%	33%	11%	特別な配慮が必要な保護者と他の保護者では多少の差が出てしまうため、工夫・改善していきたい

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	56%	11%	33%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	44%	44%	11%	体制を整えられるよう準備をしている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	89%	11%	0%	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	89%	11%	0%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	肢体不自由な利用者を動く椅子や車いすを使用する際に、安全を考慮してベルトをする旨の承諾を得ているが、現時点では個別支援計画には記載していないため、今後はそのように記載していくか検討が必要である
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	44%	33%	22%	今現在そのような利用者がいない
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	

事業者向け 放課後等デイサービス(あかとんぼ下根) 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%	0%	・特に利用人数の多い時には狭く感じることもあるので、フロアの使い方を工夫することや庭遊び・外出も取り入れ対応しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	40%	50%	10%	・お迎えに行く学校数や下校時間によりフロアの職員配置に変動がある為、こまめに職員間で声をかけ合い対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	70%	30%	・民家を借りての活動の為段差が複数あります。必要に応じ職員間で話し合い改善案を出しているところです。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	70%	30%	0%	
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	70%	20%	10%	・保護者からの意見は真摯に受け止め、優先順位をつけながら対応できるよう検討していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%	0%	0%	
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	90%	10%	0%	・事業所としては月に1回開催しています。外部研修の情報も共有し各々参加できるものに参加しスキルアップを目指しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%	10%	0%	・時間をかけ丁寧にを行うようにしています。各担当者が誰が見てもわかりやすい表記を心がけて対応中です。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	70%	30%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%	0%	・職員間で意見を出し合い、可能な限り活動の偏りが出ないようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	70%	30%	0%	・過去の振り返りや現在の利用者の特性等もふまえて立案するようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	40%	60%	0%	・日によってバラつきがあるので、より明確なものを打ち出せるよう事前準備等を充実させていこうと思っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%	0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・毎日支援前ミーティングを行い、流れや担当、特記事項等を確実に共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100%	0%	0%	・毎日業務日誌を用い、利用者の気になる言動や個々の気づき等を共有しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	90%	10%	0%		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	90%	10%	0%	・時間をかけ丁寧にを行うようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	30%	70%	0%	・日によってバラつきがあるので、今後より意識を高めて実施していこうと思っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	相談支援事業所の担当者会議は、虐待等の特例のみ主任が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80%	20%	0%	・学校によっては連携が弱いところがあるので、どの学校ともより連携が深められるようにしていきたいです。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	相談支援事業所の担当者会議は、虐待等の特例のみ主任が参加している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	100%	0%	・現在該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	・現状機会が持てていないので、まずは身近なところから障がいのないこどもともかかわれる機会を作れるよう検討していきます。
	24	子供を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	・こまめに共有するようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	30%	70%	・現状機会が持てていないので、まずは身近なところから障がいのないこどもともかかわれる機会を作れるよう検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・こまめに共有するようにしています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10%	90%	0%	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	10%	10%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	70%	20%	・年に一度保護者と職員が交流できる場は設けています。より保護者同士の繋がりが持てるような場を創出したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	70%	20%	10%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	70%	20%	10%	・行事等はその都度お知らせを配布しています。活動内容は定期的にブログを更新する形でお伝えすることが多いです。伝わりやすいよう写真を多く取り入れています。

	35	個人情報に十分に注意しているか	90%	10%	0%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%	0%	・個々に合わせたツールを用いるよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	40%	40%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	70%	30%	0%	・周知に至っていないものもあるので、今後改めて全てのマニュアルが周知できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・年に2回避難訓練を実施しています。過去の訓練時の様子もふまえ内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	90%	10%	0%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	肢体不自由な利用者を動く椅子や車いすを使用する際に、安全を考慮してベルトをする旨の承諾を得ているが、現時点では個別支援計画には記載していないため、今後はそのように記載していくか検討が必要である
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	0%	100%	0%	・現在該当者なし
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	・報告書を全職員で回覧するとともに会議の場で必ず共有し次に活かせるようにしています。

事業者向け 放課後等デイサービス(あかとんぼ飯野) 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	38.4	62.5		利用者が多い日は公園や散歩等に出かけている
	2	職員の配置数は適切であるか	50	50		ばらつきのある日もある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12.5	25	52.5	バリアフリー化はされていない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	25	62.5	12.5	
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50	25	25	アンケートの回収率を上げる事が必要
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100			
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			研修は行われている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			アセスメントにそって計画書を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75	25		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	25	62.5	12.5	一部職員間のみで行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75	25		マンネリ化している部分がある
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	62.5	37.5		平日はきめ細かく行われていない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			行われている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	87.5	12.5		開始前の打ち合わせは行われている
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	37.5	50	12.5	終了後の打ち合わせは行われていない	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	87.5	12.5		検証・改善は行われていない

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	87.5	12.5		必要に応じて見直しは行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	50	50		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100			情報共有を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	62.5	37.5		今はないが体制を整えたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100			
	24	子供を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12.5	25	62.5	交流を目的とした活動は出来ていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			送迎時や連絡ノート等で情報共有を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25	50	25	行っていない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50	37.5	12.5	情報共有はされているが助言はされていない
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		37.5	62.5	保護者会がない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	87.5	12.5		その都度対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	50	37.5	12.5	発行出来ていない
	35	個人情報に十分に注意しているか	87.5	12.5		取り扱いには最新の注意を払っている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	87.5	12.5		各自違うことを考慮し対応している

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12.5	50	37.5	飯野自体の行事はない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	37.5	62.5		準備段階で周知されていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	62.5	37.5		行われている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			職員間で声掛けを行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	50	50		現在はアレルギーのある子がいない
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100			共有されている

事業者向け 放課後等デイサービス(あかとんぼ佐倉) 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	58%	42%	0%	・人数が多いときは外活動をしている。・1フロアのため利用者さんが不安になった場合に逃げ場がない。そのため会議室を利用している。・多い時には会議室
	2	職員の配置数は適切であるか	67%	33%	0%	・子どもに応じたマンツーマン対応ができていない。・休憩中などに職員が足りないと感じることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	92%	8%	0%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	67%	33%	0%	
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	67%	25%	8%	・アンケートはあまり行っていないが依頼等があれば面談を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%	0%	0%	
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	・本部での研修に参加したい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%	33%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%	0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	25%	8%	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	92%	8%	0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	17%	8%	
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	83%	17%	0%	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	92%	8%	0%	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	92%	8%	0%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	67%	33%	0%	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	相談支援事業所の担当者会議は、虐待等の特例のみ主任がさんかしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	・その日に連絡等があった場合全員に共有するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	33%	42%	25%	・医療ケアが必要な利用者の受け入れをしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	
	24	子供を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	42%	17%	42%	・交流する機会を設けたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	42%	25%	・子供ではないので支援等はしていないが時と場合により声掛けをしている。・悩みに対する相談には応じている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	17%	8%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17%	25%	58%	・保護者会等はほぼ実施していない。大きな変更がある場合のみ。・父母の会はなくなってしまった。内容の変更がある時は説明会を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92%	0%	0%	無回答1名
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	8%	0%	
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%	0%	0%	・子どもの名前が書かれたものなどはシュレッダーにかけている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	58%	8%	・風の村さくら全体で実施されてる秋祭りに招待している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75%	17%	0%	未回答1名
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	92%	8%	0%	・6月、11月に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	92%	8%	0%	・2カ月に1回研修を行い周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	肢体不自由な利用者を動く椅子や車いすを使用する際に、安全を考慮してベルトをする旨の承諾を得ているが、現時点では個別支援計画には記載していないため、今後はそのように記載していくか検討が必要である
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	58%	25%	17%	・現在アレルギーのある子どもはいないが保護者に報告を受け対応している。 ・服薬がある場合は与薬及び医療的処置依頼書を提出してもらっている。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	・ヒヤリハットは1週間以内に提出し、すぐ共有できるように心がけている。

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ稲毛)

職員数10名中 9名回答 (回答率90%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	55%	34%	11%	一人になれるスペースがほとんどない状態です。整理整頓し、一人になれるスペースを確保します。
	2	職員の配置数は適切であるか	55%	45%		スタッフ都合により、ギリギリの配置となることがあります。人員確保を進め、適切な配置を心掛けます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	55%	34%	11%	建物自体はバリアフリーですが、活動中、物が乱雑に置かれている状況があります。常に整理を心掛け、安全なハードを確保します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	45%	45%	10%	職場会議へは、スタッフから改善提案等の意見を募集して検討していますが、すべての案件に対応しきれいていません。決まったことの遂行に取り組みます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89%	11%		2016年度より取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか			100%	法人内自主監査室の監査を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	89%	11%		研修の機会は多くありますが、必要な研修(外部研修含め)を適時行なうことが課題です。2018年度の事業所目標です。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%		今後も継続してご家族や学校からいただいた情報に基づき、計画を作成します。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	34%	45%	21%	ご家族からの情報を中心としたアセスメント表を使っています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	56%	12%	22%	現在もチームで立案していますが、活動の幅を広げるため、情報収集及び研修を実施していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	34%	45%	21%	季節感を大切にしながら、活動の幅を広げる必要があります。情報収集及び研修を実施していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	22%	56%	22%	特に終日利用時の活動の設定に創意工夫が必要です。朝礼を実施することが困難なため、事前の活動設定が可能かどうか検討します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	44%	56%		集団活動を計画に位置付けている方は少数ですが、日々の利用者の状況に合わせて集団活動を実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	89%	11%		終日利用は参加できないスタッフもいますが、基本的には毎日行なっています。

	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	67%	33%		毎日行なっていますが、早上がりで参加できないスタッフがいます。参加できないスタッフの意見をどのように振り返りに反映するかが課題です。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	22%	11%	記録は取っていますが、支援の検証や改善にうまく繋がっていません。朝礼時に記録を振り返るなど含めて、記録の活用について検討します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	34%	55%	11%	半年に一度のモニタリングは行なっていますが、個別の状況に合わせて随時計画を変更するまでには至っていません。ケアカンファレンスで出た意見等に基づき、計画の随時変更を、ご家族に提案します。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	34%	44%	22%	ガイドラインの共有ができていませんが、活動内容はガイドラインに沿ったものを提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか			100%	サービス担当者会議が開催されたことが一度もありません。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	78%	22%		学校からはお便りをいただいておりますが、当事業所からはお渡ししていません。ただし、日々の事業所での様子は、ご家族を通じて学校にお伝えいただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	56%	33%	12%	主治医の情報は把握できていますが、基本的にはご家族を介してのやり取りを中心としています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			100%	2018年度利用者から対応していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	2018年度利用者から対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			100%	2018年度利用者から必要に応じて対応していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		34%	66%	まったくできていない状況です。2018年度の課題として対応します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	現段階では参加できていません。2018年度は必要に応じて参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	66%	34%		ご家族に会えるスタッフとそうではないスタッフがいるので、聞いた情報は今後も共有していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		44%	56%	こちらで気づいたことなどは情報提供したり改善案を提案していますが、「対応力の向上」に寄与できていません。まずは自分達の専門性の確立を優先します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	34%	66%		まずは相談いただきやすい環境や関係性の構築を優先課題とします。そのためにも、有する知識を増やすことに取り組みます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11%	56%	33%	今年度の開催は見送りました。2018年度は開催を予定しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	44%	56%		あまり苦情は入りません。何かあった時に話していただきやすい雰囲気や関係性を構築し、適時、適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	44%	44%	12%	保護者アンケートを受け、ブログを再開しましたが、会報の発行には至っていません。2018年度から発行予定です。
	35	個人情報に十分に注意しているか	78%	22%		個人情報には注意して業務に当たっていますが、時折事故が発生してしまいます。今後もマニュアルに則って業務を遂行します。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	66%	34%		概ねできていますが、今後も障がいのある子の保護者心理の理解及び、意思の表出が困難な方とのコミュニケーションスキルを向上させるなど、円滑な意思疎通ができるよう研修等を重ねます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	34%	44%	22%	施設としては地域住民に開かれた活動をや行事を行なっていますが、事業所独自では行なえていません。まずは事業所として地域に目を向けていくことから始めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	56%	22%	22%	今年度中に事業所とご家族との取り決めについて文書を出す予定です。事業所内でのマニュアルの共有を進めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	78%	22%		避難訓練は定期的を実施していますが、複合施設ということもあり、事業所間連携の取り方についても訓練を進めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	56%	33%	11%	今後もケアの質向上委員会からの情報を共有するとともに、研修の機会を設け、不適切ケアの撲滅・虐待防止に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		100%		該当する可能性のあるお子様のご家族には、契約時及び面談時に説明していますが、計画には掲載していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	100%			ただし、指示書はいただいていません。必要に応じて取得していきます。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	45%	33%	23%	毎日の夕礼の中で、危なかったと感じたことについて意見を出し合い、改善に向けて話し合った上で、業務日誌にて情報共有しています。

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ作草部)

職員数10名中 9名回答 (回答率90%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	55%	34%	11%	一人になれるスペースがほとんどない状態です。整理整頓し、一人になれるスペースを確保します。
	2	職員の配置数は適切であるか	55%	45%		スタッフ都合により、ギリギリの配置となることがあります。人員確保を進め、適切な配置を心掛けます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	55%	34%	11%	建物自体はバリアフリーですが、活動中、物が乱雑に置かれている状況があります。常に整理を心掛け、安全なハードを確保します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	45%	45%	10%	職場会議へは、スタッフから改善提案等の意見を募集して検討していますが、すべての案件に対応しきれていません。決まったことの遂行に取り組みます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89%	11%		2016年度より取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか			100%	法人内自主監査室の監査を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	89%	11%		研修の機会は多くありますが、必要な研修(外部研修含め)を適時行なうことが課題です。2018年度の事業所目標です。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%		今後も継続してご家族や学校からいただいた情報に基づき、計画を作成します。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	34%	45%	21%	ご家族からの情報を中心としたアセスメント表を使っています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	56%	12%	22%	現在もチームで立案していますが、活動の幅を広げるため、情報収集及び研修を実施していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	34%	45%	21%	季節感を大切にしながら、活動の幅を広げる必要があります。情報収集及び研修を実施していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	22%	56%	22%	特に終日利用時の活動の設定に創意工夫が必要です。朝礼を実施することが困難なため、事前の活動設定が可能かどうか検討します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	44%	56%		集団活動を計画に位置付けている方は少数ですが、日々の利用者の状況に合わせて集団活動を実施しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	89%	11%		終日利用は参加できないスタッフもいますが、基本的には毎日行なっています。	

	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	67%	33%		毎日行なっていますが、早上がりで参加できないスタッフがいます。参加できないスタッフの意見をどのように振り返りに反映するかが課題です。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	22%	11%	記録は取っていますが、支援の検証や改善にうまく繋がっていません。朝礼時に記録を振り返るなど含めて、記録の活用について検討します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	34%	55%	11%	半年に一度のモニタリングは行なっていますが、個別の状況に合わせて随時計画を変更するまでには至っていません。ケアカンファレンスで出た意見等に基づき、計画の随時変更を、ご家族に提案します。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	34%	44%	22%	ガイドラインの共有ができていませんが、活動内容はガイドラインに沿ったものを提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか			100%	サービス担当者会議が開催されたことが一度もありません。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	78%	22%		学校からはお便りをいただいておりますが、当事業所からはお渡ししていません。ただし、日々の事業所での様子は、ご家族を通じて学校にお伝えいただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	56%	33%	12%	主治医の情報は把握できていますが、基本的にはご家族を介してのやり取りを中心としています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			100%	2018年度利用者から対応していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	2018年度利用者から対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			100%	2018年度利用者から必要に応じて対応していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		34%	66%	まったくできていない状況です。2018年度の課題として対応します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	現段階では参加できていません。2018年度は必要に応じて参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	66%	34%		ご家族に会えるスタッフとそうではないスタッフがいるので、聞いた情報は今後も共有していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		44%	56%	こちらで気づいたことなどは情報提供したり改善案を提案していますが、「対応力の向上」に寄与できていません。まずは自分達の専門性の確立を優先します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	34%	66%		まずは相談いただきやすい環境や関係性の構築を優先課題とします。そのためにも、有する知識を増やすことに取り組みます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11%	56%	33%	今年度の開催は見送りました。2018年度は開催を予定しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	44%	56%		あまり苦情は入りません。何かあった時に話していただきやすい雰囲気や関係性を構築し、適時、適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	44%	44%	12%	保護者アンケートを受け、ブログを再開しましたが、会報の発行には至っていません。2018年度から発行予定です。
	35	個人情報に十分に注意しているか	78%	22%		個人情報には注意して業務に当たっていますが、時折事故が発生してしまいます。今後もマニュアルに則って業務を遂行します。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	66%	34%		概ねできていますが、今後も障がいのある子の保護者心理の理解及び、意思の表出が困難な方とのコミュニケーションスキルを向上させるなど、円滑な意思疎通ができるよう研修等を重ねます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	34%	44%	22%	施設としては地域住民に開かれた活動をや行事を行なっていますが、事業所独自では行なえていません。まずは事業所として地域に目を向けていくことから始めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	56%	22%	22%	今年度中に事業所とご家族との取り決めについて文書を出す予定です。事業所内でのマニュアルの共有を進めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	78%	22%		避難訓練は定期的を実施していますが、複合施設ということもあり、事業所間連携の取り方についても訓練を進めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	56%	33%	11%	今後もケアの質向上委員会からの情報を共有するとともに、研修の機会を設け、不適切ケアの撲滅・虐待防止に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		100%		該当する可能性のあるお子様のご家族には、契約時及び面談時に説明していますが、計画には掲載していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	100%			ただし、指示書はいただいていません。必要に応じて取得していきます。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	45%	33%	23%	毎日の夕礼の中で、危なかったと感じたことについて意見を出し合い、改善に向けて話し合った上で、業務日誌にて情報共有しています。

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

回答数18/28 (64.3%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50.0%	44.4%	5.6%	利用人数が多い場合は、活動内容に合わせて相談室や食堂を使っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	16.7%	61.1%	22.2%	ほぼ1対1の支援を行なっています。(職員の不安は1対1で行えない場合があることについて評価していると思われます)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	77.8%	16.7%		施行のミスで一部バリアフリー化されていない部分については修理しました。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	16.7%	50.0%	27.7%	契約職員が中心のため、ミーティングへの参加率が課題です。ケース会議のために時間を取ることを検討します。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	33.3%	50.0%	16.7%	法人によるアンケート調査を実施済みです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100.0%			実施予定です
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100.0%		法人による内部監査を実施しています
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	27.8%	44.4%	27.8%	月1回の職員研修を行なっています。参加率が課題なので、研修日を別に設けることも検討します。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	44.4%	44.4%	11.1%	原則として年2回の個別支援計画の面談を行い、主担当者が参加しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	22.2%	55.6%	22.2%	知能指数評価などは重心のお子さんには適さないため、使用していません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	22.2%	55.6%	22.2%	個別活動が主であるため、チームでの立案は少ない傾向にあります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	38.9%	44.4%	16.7%	個別活動が主なので、一般的な活動プログラムのようなものは原則としてありません。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	33.3%	33.3%	27.8%	無回答1 利用者の多くは、平日または学校休業日利用で、両方利用する方が少ない傾向にあります。両方利用の方については、それぞれに適切な計画を立てます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	33.3%	44.4%	16.7%	無回答1 主に個別活動を行なっています。子ども同士や成人(多機能のため)との活動も行っています。イベントを月に2回程度企画しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	33.3%	50.0%	16.7%	送迎添乗などで職員が同一時間に全員集まることができません。職員・利用者の集合後に利用者を含めて打ち合わせをすることを検討しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	38.9%	55.6%		無回答1 支援終了後に振り返りミーティングを毎日行なっています。送迎添乗などで参加できない職員がいるため、完全な形では実施できていません。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	55.6%	33.3%	5.6%	無回答1 記録内容については、管理者より指導を行なっています。不十分なものも見受けられるため、今後も継続して指導していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	66.7%	22.2%	5.6%	無回答1 年1回のモニタリング、年1回の計画書確認を保護者・本人を交えて実施しています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	38.9%	44.4%	11.1%	無回答1 ガイドラインの共有が課題です。活動内容はガイドラインに沿ったものになっています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100.0%			状況に応じて管理者、児童発達支援管理者、主担当者などが参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	66.7%	22.2%	11.1%	各学校との連絡調整は双方から連絡を取り合っている行なっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	77.8%	16.7%	5.6%	指示書のやり取りを始め、必要に応じて会見するなど密接な関係をもっています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100.0%			就学児のほとんどが同一施設(多機能)児童発達支援事業のご利用者であり、情報共有は容易です。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100.0%			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100.0%			必要に応じて職員を積極的に派遣して指導・助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		38.9%	27.8%	無回答6 ほとんど行えていません。今後、近隣小学校との交流を図るため、学校宛てに文書を発行しました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100.0%			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	44.4%	44.4%	5.6%	無回答1 ご家族との連絡は概ねとれていますが、職員間の情報共有が課題です。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		50.0%	27.8%	無回答3 PTを増員して必要な指導を行なえるようにしたいと考えています。	
保護者への説	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	22.2%	55.6%	16.7%	無回答1 専門性の問題から、個々の担当職員が十分に答えることができないことがあります。PTほか専門職の配置を増やして対応しやすくしていく予定です。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33.3%	38.9%	22.2%	無回答1 年2回の家族連絡会を行なっていますが、参加率が課題です。行事と組み合わせるなどして工夫しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	66.7%	33.3%		

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	72.2%	16.7%	5.6%	無回答1 月に1回写真入りカラー刷りの部内誌を発行し、好評を得ています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	88.9%		5.6%	無回答1 個人情報が記された連絡ノートなどが無造作に部屋に置かれている場合があります。取り扱いを職員に注意していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	61.1%	33.3%		無回答1
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33.3%	44.4%	16.7%	無回答1 秋祭りは地域行事として行っています。「地域に開かれた」というレベルには達していません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	38.9%	44.4%	11.1%	無回答1 防犯マニュアルを整備準備中です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83.3%	16.7%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	44.4%	27.8%	16.7%	無回答2 研修への参加率が課題です。研修時間を更に設けるかどうか、検討します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		100.0%		身体拘束・虐待については契約時に必ず説明をしています。実際には拘束が必要な状況はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	94.4%		5.6%	意思指示書は一部のみで、ご家族からの情報に基づいて対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	77.8%	22.2%		